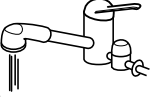
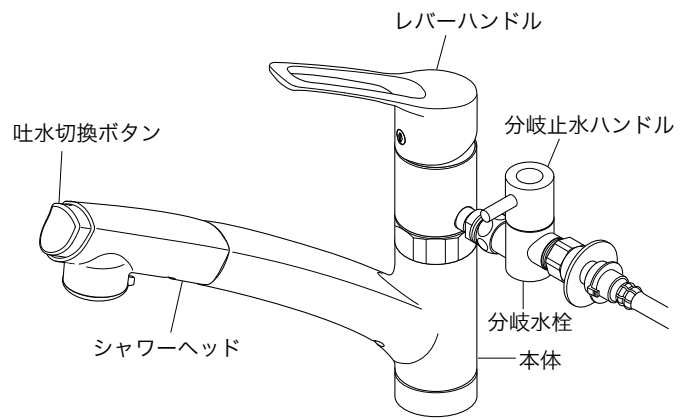
403610-01Ⓚ R（07）

KVK 分岐水栓付流し台用シングルレバー式混合栓 KM5021(Z)TTU〈各仕様共通〉 取扱説明書1

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

●ここに示した ⚠警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
●ここに示した ⚠注意 は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、「分解禁止」の内容です
この絵表示は、「接触禁止」の内容です
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

やけど、漏水をした場合の処置	
やけど	やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏 水	漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

⚠警告

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

禁止

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。

禁止

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

小さいお子様だけの使用は避けてください。

禁止

やけど・けがをするおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

分解禁止

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

器具の左側および分岐水栓（給湯接続の場合）は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。

接触禁止

やけどをするおそれがあります。

キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。

接触禁止

やけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いのときには吐水口および器具の左側は高温になっています。直接肌を触れないでください。

接触禁止

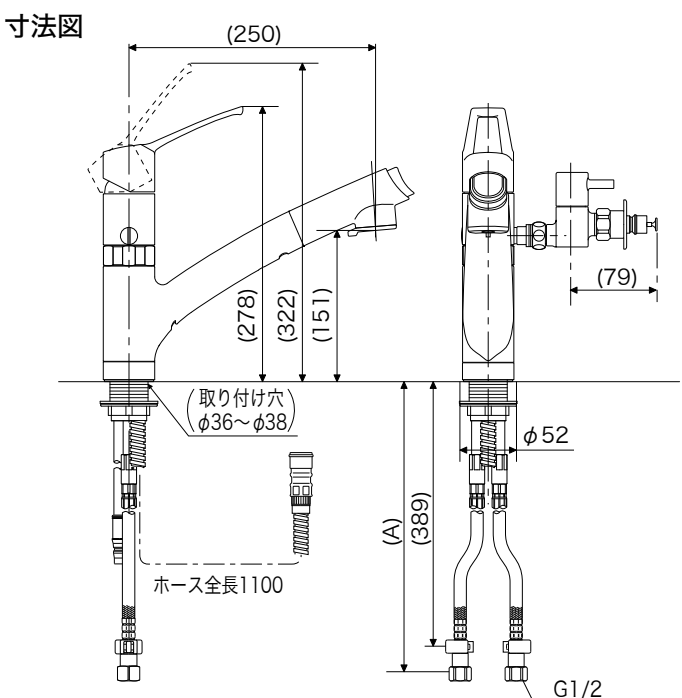
やけどをするおそれがあります。

湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。

確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。

湯側を先に開栓すると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。

⚠警告

レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。

確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、必ずレバーを水側にして、しばらく水を流してから止水してください。

熱湯　水

水を流さないと次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

お湯を使用した後で次に使用する時、若干温度変化する場合がありますので、しばらく吐水させて湯温が安定してからお使いください。

湯温が安定してから

しばらく吐水させないと、やけどをするおそれがあります。

（寒冷地仕様の場合）水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。

禁止

水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。

禁止

通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

止水キャップおよび蓋は接続時以外ははずさないでください。

禁止

接続時以外にはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続する際は、取付店またはＫＶＫ修理受付センターにご相談ください。

吐水口を分岐水栓にぶつけないでください。

禁止

ゴン！

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

食器洗い乾燥機・浄水器・整水器などの作動中は、シングルレバー水栓を使用しないでください。

禁止

水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。

給水ホースが接続されていない場合は、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。

禁止

高温が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。

ワンタッチノズルの圧逃しを行う場合は、分岐止水ハンドルを確実に閉めてからノズルをはずしてください。

分岐止水ハンドルが開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。

禁止

器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

本体の開口部へ直接湯水をかけないでください。

禁止

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。

めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

禁止

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

レバーハンドルおよび分岐止水ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

ゆっくり

ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け完成図と各部の名称 ／ 寸法図 ／ 分解図

取り付け完成図と各部の名称

レバーハンドル
吐水切換ボタン
分岐止水ハンドル
分岐水栓
シャワーヘッド
本体

寸法図

(250)
(278)
(322)
(151)
(79)
取り付け穴 φ36～φ38
φ52
(A)
(389)
ホース全長1100
G1/2

A	逆止弁付仕様	逆止弁無仕様
	420	408

分解図

寒冷地仕様

No.	名称
1	キャップ
2	六角穴付きねじ
3	レバーハンドル
4	固定ナット
5	カートリッジ
6	蓋
7	分岐金具本体
8	分岐ジョイント
9	パッキン
10	分岐水栓本体
11	逆止弁
12	ワンタッチノズル
13	セラミックバルブ
14	分岐止水ハンドル
15	ねじ
16	キャップ
17	ピン
18	パッキン
19	吐水口
20	スリップ板
21	回転規制ストッパー
22	本体
23	プラグ
24	シートパッキン
25	輪パッキン
26	スリップ板
27	座付きナット
28	ホースガイドA
29	ホースガイドB
30	ブレードホース
31	クイックファスナー
32	保護キャップ
33	ジョイント
34	逆止弁
35	パッキン
36	カプラー
37	シャワーホース
38	ストレーナ
39	シャワーヘッド
40	パッキン
41	ストレーナ
42	シャワーフェイス
43	クリップ
44	水抜き付カプラー
45	ジョイント
46	止水キャップ

取り付け手順 1

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。
水受けタンク又はトレーを設置する場合は、水受けタンク又はトレーの寸法をご確認の上取り付けてください。
止水栓はストレーナ付が最適です。
寒冷地用は水抜き栓付き止水栓を取り付けてください。

3 本体の取り付け位置について

取り付け位置によっては吐水口先端がシンクから飛び出す場合があります。(施工例1)
正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(施工例2)
その際、ハンドルの左右中央位置もずれますのでご注意ください。
(ハンドルの左右中央位置は正面シールの位置となります)
位置調整は、ブレードホースが施工できる範囲内で行ってください。

本体の固定

① 取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがし正面シールが正面にくるように本体を差し込みます。
② 下図の順にパッキン類を差し込み座付きナットで締めつけ本体を完全に固定します。

【⚠注意】

- **セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。**
- **専用工具G26(別売)を使用して本体を保持してください。シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますのでこれらは持たないでください。**

【⚠注意】

座付きナットの締め付けは、専用工具KPS955(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

4 止水栓との接続　（逆止弁付仕様、逆止弁無し仕様共、接続方法は同じです。）

① ジョイントを止水栓に接続します。

【⚠注意】

- **接続は適切な工具（スパナ等）で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N･cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。**
- **薄肉の接続管（ニップル等）にはジョイントを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。**
- **止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。**

② ブレードホースのつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

【⚠注意】

- **ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。**
- **上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。**
- **ブレードホース同士の接触及び、壁などへのブレードホースの接触は避けてください。接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。**

【お願い】ブレードホースは切断しないでください。

③ クイックファスナーを、ブレードホースとジョイントのつばにはめます。

【⚠注意】

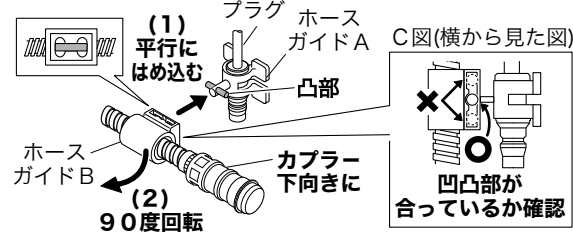
ブレードホースを上に引っぱって、抜けないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

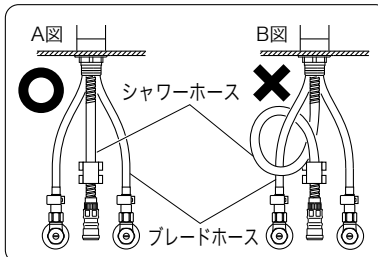
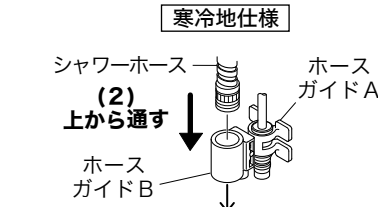
④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップはブレードホースにはめてから、クイックファスナーまでおろします。

取り付け手順２

5-1 シャワーホースの接続

① 同梱のホースガイドＡをプラグにはめ込みます。
【お願い】ホースガイドは壁面に固定しないでください。

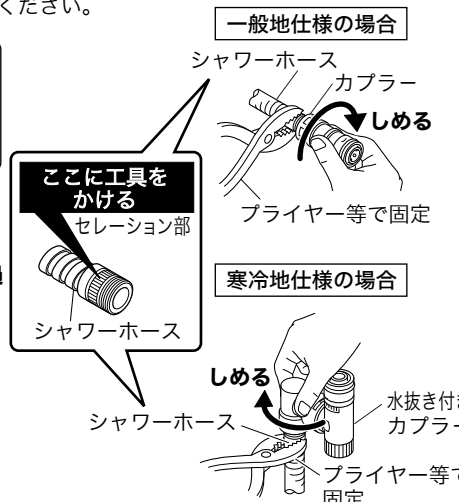
② (1)ホースガイドＢを、ホースガイドＡの凸部と平行になるように、ホースガイドＡにはめます。
（ホースガイドＢは、一般地仕様の場合はホースに付いています。寒冷地仕様は同梱しています。）
(2)〔一般地仕様の場合〕カプラーが下向きになるように、ホースガイドＢを90度回転させます。
〔寒冷地仕様の場合〕ホースガイドＢを９０度回転させ、シャワーホースを上から通します。

【⚠注意】
- **固定した際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。B図のように、ブレードホースに引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。**

【お願い】ホースガイドAとBを横から見て、凹凸部が合っているか確認してください。ずれている場合は合わせてください。(C図)

③ カプラーの締め付けを確認します。シャワーホースにカプラーが確実に締め付けられているか確認してください。緩んでいる場合は、増し締めしてください。

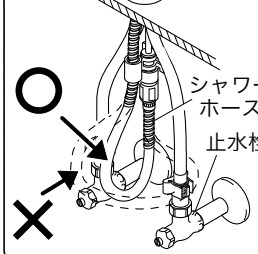
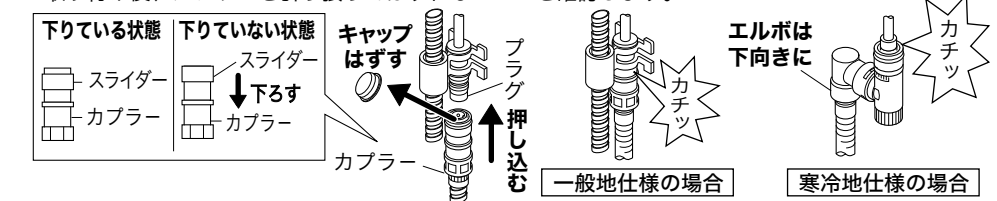
寒冷地仕様

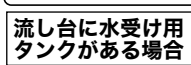
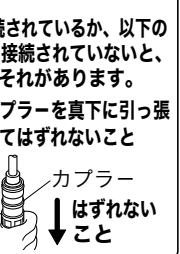
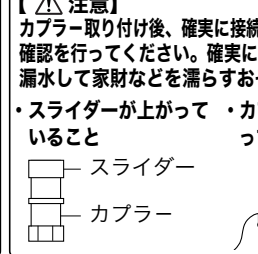
水抜き付きカプラーをシャワーホースに接続します。その際、シャワーホースのセレーション部に工具をかけ固定し、水抜き付きカプラーを締め付けます。

【⚠注意】
- **カプラー（水抜き付カプラー）とシャワーホースとの増し締めトルクおよび締め付けトルクの目安は約100N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。**
- **シャワーホースはねじらないでください。シャワーホースが破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。**
- **シャワーホースのセレーション部以外には工具をかけないでください。シャワーホースが破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。**

一般地仕様の場合
シャワーホース　カプラー　しめる　プライヤー等で固定
ここに工具をかける　セレーション部　シャワーホース
寒冷地仕様の場合
しめる　水抜き付きカプラー　シャワーホース　プライヤー等で固定

5-2 ④ カプラーのキャップをはずし、スライダーを下に下ろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。（スライダーがすでに下りている場合もあります。寒冷地仕様の場合はエルボが下向きになっていることを確認します。）
取り付け後、カプラーを引っ張ってはずれないことを確認します。

下りている状態　スライダー　カプラー
下りていない状態　スライダー　下ろす　カプラー
キャップはずす　プラグ　押し込む　カプラー
一般地仕様の場合　カチッ
寒冷地仕様の場合　エルボは下向きに　カチッ

シャワーホース　止水栓

【⚠注意】
シャワーホースは止水栓に引っ掛けないで、給湯・給水パイプの間にぶら下げて取り付けてください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【⚠注意】
カプラー取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- **スライダーが上がっていること**　スライダー　カプラー
- **カプラーを真下に引っ張ってはずれないこと**　カプラー　はずれないこと

流し台に水受け用タンクがある場合　シャワーホースの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてください。（ホースとの接続の銅管部を少し曲げることにより調節できます。）

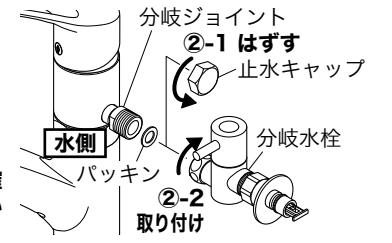
6-1 分岐水栓の取り付け（工場出荷時は、水側分岐仕様になっています。）

分岐水栓の使用上のご注意

【⚠警告】
- **止水キャップおよび蓋は接続時以外ははずさないでください。接続時以外にはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続する際は、取付店またはＫＶＫ修理受付センターにご相談ください。**
- **給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。また、ワンタッチノズルの先端（白い部分）を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。**
- **分岐水栓のワンタッチノズルには緊急止水機能が付いていますので、万一給水ホースがはずれた場合や給水ホースを付けない状態では、緊急止水機能が働いて通水されません。**
- **分岐水栓は給水・給湯どちらでも使用できますが、浄水器、整水器などをご使用になる場合は、給水接続で使用してください。(分岐水栓を付け替える際は、取付店またはＫＶＫ修理受付センターにご相談ください)又、食器洗い乾燥機の場合、給湯器の設定温度によっては給水接続しかできない場合がありますので、接続する機器の仕様を十分確認してください。**
- **接続の場合は、接続する機器(食器洗い機等)の給水条件および施工上の注意事項をよくご確認ください。**
- **分岐水栓以降に接続された設備については保証の対象外となります。**
- **給水ホースをはずす際は、必ず分岐止水ハンドルが閉まっていることを確認してください。通水中に給水ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。**

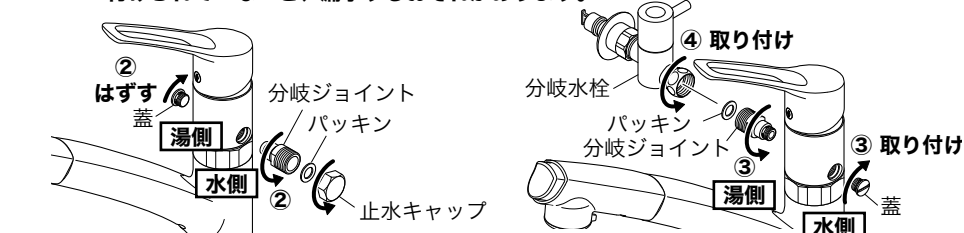
水側分岐をする場合

① 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② 右側（水側）の分岐ジョイントの止水キャップを取りはずし、分岐水栓を取り付けます。この時、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けてください。

【⚠注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

6-2 湯側分岐をする場合　分岐ジョイントと蓋を付け替えます。

① 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② 右側（水側）の止水キャップと分岐ジョイント、左側（湯側）の蓋をはずします。
③ 左側（湯側）に分岐ジョイントを取り付け、右側（水側）に蓋をドライバー等を使って確実に取り付けます。
④ 左側（湯側）の分岐ジョイントに分岐水栓を取り付けます。
この時、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けてください。

【⚠注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

② はずす　蓋　湯側　水側　分岐ジョイント　パッキン　②　止水キャップ
分岐水栓　④ 取り付け　パッキン　分岐ジョイント　③　湯側　③ 取り付け　蓋　水側

湯・水同時分岐をする場合　別売の分岐ジョイント(Z108)1個と別売の分岐水栓(K1011)1個を用意してください。

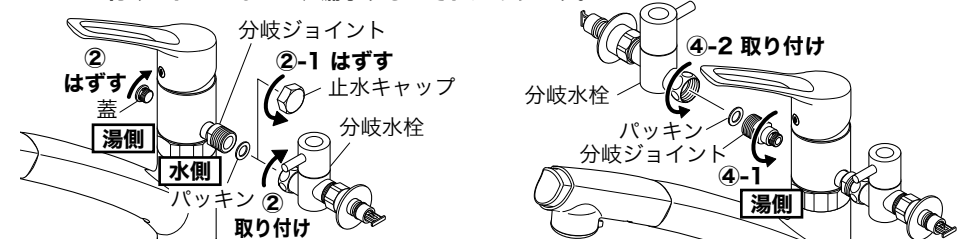
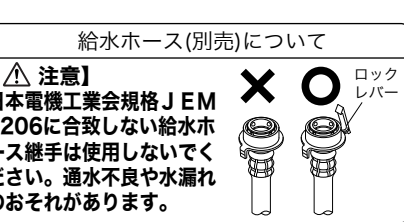
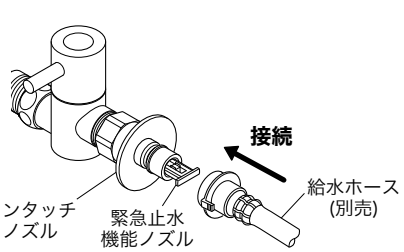
① 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② 右側（水側）の止水キャップを取りはずし、分岐水栓を取り付けます。
③ 左側（湯側）の蓋をはずします。
④ 左側（湯側）に別売の分岐ジョイント（Z108）と、別売の分岐水栓（K1011）を取り付けます。
この時、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けてください。

【⚠注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

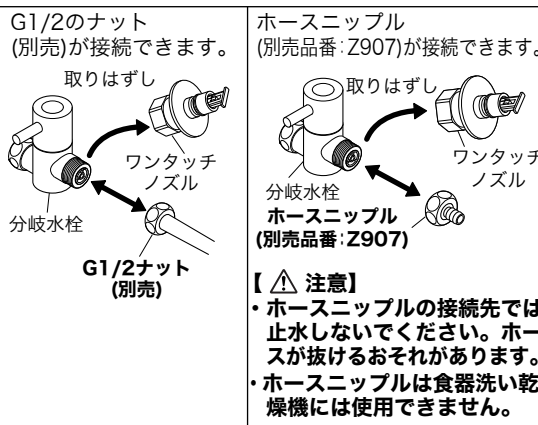
② はずす　蓋　湯側　水側　分岐ジョイント　②-1 はずす　止水キャップ　分岐水栓　パッキン　② 取り付け
分岐水栓　④-2 取り付け　パッキン　分岐ジョイント　④-1　湯側

7-1 給水ホース(別売)の接続

給水ホース(別売)について

【⚠注意】
日本電機工業会規格ＪＥＭ1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

その他の接続例
分岐水栓の先端のワンタッチノズルは取りはずしができます。この場合、緊急止水機能は働きませんので注意してください。

G1/2のナット（別売)が接続できます。
ホースニップル（別売品番：Z907)が接続できます。

【⚠注意】
- **ホースニップルの接続先では止水しないでください。ホースが抜けるおそれがあります。**
- **ホースニップルは食器洗い乾燥機には使用できません。**

7-2 ワンタッチノズルの圧逃し方法

万一通水中に給水ホースがはずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。

① 分岐止水ハンドルをしっかり閉めます。

【⚠警告】
分岐止水ハンドルは確実に閉めてください。開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

② ワンタッチノズルをはずし、圧を逃します。
③ ワンタッチノズルを分岐止水栓本体に取り付けます。
④ 給水ホース（別売）をワンタッチノズルに取り付けます。

① しめる　分岐止水ハンドル　③ 取り付け　パッキン　② はずす　④ 取り付け　ワンタッチノズル　給水ホース（別売）

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【⚠注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを５～６回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。

➡ 取扱説明書「流量の調節方法」参照

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に取扱説明書の表に従ってもう一度お確かめください。

➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

【⚠注意】
- **修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。**
- **メンテナンスは、専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。**